

公開シンポジウム「教育改革と可視化－生成AIは大学を どう変えるのか－」を開催(3月19日)

主催:日本学術会議 共催:大阪成蹊大学

大阪成蹊大学(大阪市東淀川区/学長 中村佳正)では、2026年3月19日(木)に、公開シンポジウムを駅前キャンパス こみちホールにて開催します。本シンポジウムは、第1～3回公開シンポジウムでの議論を総括し、教育改革における可視化の価値と方向性を示す「見解(素案)」を提示し、参加者から広くフィードバックを得ることを目的とします。特に、個人差(ワーキングメモリ差)を踏まえたウェルビーイングの保障、協働学習における取り残され感の可視化、生成AIによるLOD(Level of Detail)調整、WBI(Well-Being Indicators)整備の必要性など、2025年以降の教育政策に向けた核心論点を扱います。

開催日時 令和8(2026)年3月19日(木)
14:00～17:00
開催場所 大阪成蹊大学駅前キャンパス こみちホール
大阪府大阪市東淀川区相川1丁目3番7号
(ハイブリッド開催)
対象 どなたでもご参加いただけます。
参加費 無料

プログラム

■総合司会

水井 賢文 (株式会社富士テクニカルリサーチ営業本部
本社営業部本社営業室主幹)

■開会挨拶および趣旨説明

小山田 耕二 (日本学術会議連携会員/大阪成蹊大学
データサイエンス学部長/教授)

■基調講演

「ウェルビーイングと包摂性から読み解く教育改革: AI活用がもたらす新しい高等教育像」

山田 礼子 (日本学術会議連携会員/同志社大学社会学部教授)

■パネル討論

タイトル:「可視化が導く教育改革の未来－個人差・ウェルビーイング・AI活用をめぐる」

パネリスト(予定):

- 小山田 耕二 (日本学術会議連携会員/大阪成蹊大学データサイエンス学部長/教授)
- 筑本 知子 (日本学術会議連携会員/大阪大学レーザー科学研究所附属マトリクス共創推進センター長/教授)
- 志村 祐康 (国立研究開発法人産業技術総合研究所エネルギー・環境領域再生可能エネルギー研究センター主任研究員)
- 林 宏樹 (雲雀丘学園中学校・高等学校教員)
- 服部 翔大 (横河デジタル株式会社DX/ITコンサルティング事業本部マネージャー)
- 水井 賢文 (株式会社富士テクニカルリサーチ営業本部本社営業部本社営業室主幹)

次ページへ続く





- 巳波 弘佳（関西学院大学副学長／教授）
- 山辺 真幸（一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科特任講師）

■生成AI利用に関する日韓共同調査報告

■閉会挨拶

筑本 知子（日本学術会議連携会員／大阪大学レーザー科学研究所附属マトリクス共創推進センターセンター長／教授）

お申込み方法

QRコードより登録をお願いします。



お問い合わせ先

小山田 耕二（大阪成蹊大学）

[E-mail] koyamada * g.osaka-seikei.ac.jp（送信の際には*を@に変えてください）

主 催：日本学術会議総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会

共 催：大阪成蹊大学